

作成日 2020/5/28  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 油吸収材  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
整理番号 M200722

### 2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1  
生殖細胞変異原性 区分2  
発がん性 区分1A  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器)  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器 腎臓 肺 免疫系)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
H315 皮膚刺激  
H318 重篤な眼の損傷  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H350 発がんのおそれ  
H371 呼吸器の障害のおそれ  
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、肺、免疫系の障害  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

#### 注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)  
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

<p>応急措置</p>	<p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 (P302+P352)</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)</p>
<p>保管</p>	<p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)</p> <p>直ちに医師に連絡すること。(P310)</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)</p> <p>皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)</p>
<p>廃棄</p>	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 (P403+P233)</p> <p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報  
化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
焼成珪藻土	47.0～75.0%	不明	不明	不明	91053-39-3
石英	2.0～15.0%	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	既存	14808-60-7
クリストパライト	1.0～5.0%	SiO <sub>2</sub>	(1)-548	既存	14464-46-1
酸化アルミニウム	8.0～20.0%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	(1)-23	既存	1344-28-1
酸化鉄	2.0～8.0%	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	(1)-357,(5)-	既存	1309-37-1
酸化カルシウム	0.1～2.0%	CaO	(1)-189	既存	1305-78-8
酸化マグネシウム	0.1～3.0%	MgO	(1)-465	既存	1309-48-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置  
吸入した場合

粉じんを多量に吸入した時は、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、呼吸に異状がある場合には、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

水及び石鹼で洗浄する。

眼に入った場合

粉じんが目に入った場合は、直ちに清浄な水又は洗眼水で洗浄し、異常が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗う。直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

本製品は不燃性。周辺の火災に適応した消火剤を使用する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

加工等により発生する粉塵は飛散しないように回収する。  
適切な保護具を着用し、粉じんの眼、皮膚への接触、吸入を避ける。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

状況に応じて、防塵マスク、保護眼鏡を着用する。荷崩れ等による倒壊、落下に注意する。

保管

水濡れに注意し、屋内に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 2mg/m <sup>3</sup>	未設定
酸化カルシウム	未設定	未設定	TWA 2 mg/m <sup>3</sup> , STEL -
酸化鉄(III)	未設定	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 4mg/m <sup>3</sup>	TWA 5 mg/m <sup>3</sup> (R), STEL -
クリストバライト	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m <sup>3</sup>	TWA 0.025 mg/m <sup>3</sup> (R), STEL -
石英	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m <sup>3</sup>	TWA 0.025 mg/m <sup>3</sup> (R), STEL -
酸化マグネシウム	未設定	未設定	TWA 10 mg/m <sup>3</sup> (I), STEL -
焼成珪藻土	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 2mg/m <sup>3</sup>	未設定

設備対策

許容濃度以下に保つために必要に応じて局部排気装置等を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

状況に応じて、特に許容濃度以上の場合、防じんマスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

状況に応じて防じん眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態

固体

形状

粒状固体

色

淡褐色

臭い

無臭

臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		1300°C以上
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		0.4—0.7 g/cm <sup>3</sup> (かさ密度)
比重(密度)		データなし
溶解度		水、有機溶剤に不溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の状態安定である。
危険有害反応可能性		強酸、フッ化水素と反応する。
避けるべき条件		情報なし
混触危険物質		強酸、フッ化水素
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が55000mg/kgのため区分外に該毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
	経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分2の成分合計が10%のため、区分2に該当。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼区分1の成分合計が10%のため、区分1に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性)  データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		区分2の成分が10%のため、区分2に該当。
発がん性		区分1Aの成分が10%のため、区分1Aに該当。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が2%のため、区分2(呼吸器)に該当。 区分3(気道刺激性)の成分合計が28%のため、区分3(気道刺激性)に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(吸入:肺)の成分が17%のため、区分1(吸入:肺)に該当。 区分1(呼吸器系)の成分が8%のため、区分2(呼吸器系)に該当。 区分1(呼吸器)の成分が10%のため、区分1(呼吸器)に該当。 区分1(腎臓)の成分が10%のため、区分1(腎臓)に該当。
吸引性呼吸器有害性		区分1(免疫系)の成分が10%のため、区分1(免疫系)に該当。 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。  許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		

労働安全衛生法	<p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)</p> <p>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)</p>
<p>水質汚濁防止法</p> <p>海洋汚染防止法</p> <p>外国為替及び外国貿易法</p>	<p>酸化アルミニウム(政令番号:189)(10%-20%)</p> <p>酸化カルシウム(政令番号:190)(5%未満)</p> <p>酸化鉄(政令番号:192)(1%-10%)</p> <p>結晶質シリカ(政令番号:165の2)(10%-20%)</p> <p>指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)</p> <p>有害でない物質(施行令別表第1の2)</p> <p>輸出貿易管理令別表第1の14項</p>
水道法	<p>輸出貿易管理令別表第1の16の項</p> <p>有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)</p>
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
16. その他の情報 参考文献	<p>製造元メーカー提供資料</p> <p>NITE GHS分類結果一覧</p> <p>JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法</p> <p>JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)</p> <p>経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス</p> <p>日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。</p>
その他	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。